

令和3年度文化芸術による子供育成総合事業－巡回公演事業－

ワークショップ実施計画書【コロナ対応版】

制作団体名	公益財団法人 九州交響楽団
公演団体名	公益財団法人 九州交響楽団

内容

【鑑賞指導】

「本公演を100倍楽しむ！」ために、“音”や“音楽の三大要素”を説明した上で、本事業のテーマである情景を表わす曲を演奏し、何を表現しているのか？を想像しながら聴いてもらい、本公演プログラムのイメージを膨らませてもらう。

また、あらゆるジャンルの「ソドレミ」で始まる曲でメロディのおもしろさや、長調曲の短調演奏でハーモニーの不思議を感じてもらう。

1. 『ドレミの“いろは”』

“ドレミの歌”を使って、「音の構成（知識面）」や半音や調性などの「音の特徴（知覚面）」を説明し、「本公演を100倍楽しむ！」ための『聴き方』を学ぶ。

2. 『音楽の三大要素』

これを知ると、クラシックのみならずポップスや童謡・唱歌まで音楽がおもしろくなる！

- ①「メロディ」…クラシックやポップス、童謡、唱歌まであらゆるジャンルの楽曲に共通する「ソドレミからはじまる音楽」を説明し、実際に「ソドレミ」で始まる曲を演奏し聴いてもらう。
- ②「ハーモニー」…長調と短調の仕組みや違いを説明し、実際に演奏を聴くことで、その曲が持つ“カラー”を感じてもらう。
例えば、ベートーヴェン／交響曲第5番「運命」のメロディ等を取り上げ、短調を長調に変換して演奏し聴いてもらう。
- ③「リズム」…指揮体験や打楽器共演の練習を通して、様々な拍子やリズムを説明する。

3. 『情景描写』

本公演で演奏する「グリーグ／ペール・ギュント」や「小山清茂／管弦楽のための木挽歌」、「ビゼー／カルメン」の一部分の演奏を聴くことで、“音楽が表わす情景”や“楽器の役割”を知り、本公演での鑑賞のためのガイドとする。

タイムスケジュール（標準）

〔午前実施の場合〕

8 時 30 分 学校到着 ～ セッティング ～ ゲネプロ
10 時 30 分 ～ 11 時 15 分 ワークショップ【鑑賞指導】
11 時 15 分 ～ 11 時 30 分 片付け
11 時 30 分 ～ 12 時 00 分 本公演会場確認、楽器搬入・搬出動線、出演者控室確認など
12 時 00 分 学校出発

〔午後実施の場合〕

12 時 00 分 学校到着 ～ セッティング ～ ゲネプロ
14 時 00 分 ～ 14 時 45 分 ワークショップ【鑑賞指導】
14 時 45 分 ～ 15 時 00 分 片付け
15 時 00 分 ～ 15 時 30 分 本公演会場確認、楽器搬入・搬出動線、出演者控室確認など
15 時 30 分 学校出発

派遣者数 ※派遣者数の内訳を御入力ください

主指導者 弦楽器奏者
補助者 弦楽器奏者（2 名）、ピアノ奏者、スタッフ（2 名）

学校における事前指導

事前指導は必須ではないが、ワークショップを効果的かつスムーズに進めるために、可能な範囲でワークショップの趣旨や概要を児童生徒に説明をお願いします。

令和３年度文化芸術による子供育成総合事業－巡回公演事業－

本公演実施計画書【コロナ対応版】

制作団体名	公益財団法人 九州交響楽団
公演団体名	公益財団法人 九州交響楽団

演目
『情景描写』 ～ 作曲家や演奏者が楽器を使って何を伝えようとしているのでしょうか 情景を心に浮かべ、想像しながら聴いてみましょう ～ 1. ロッシーニ／「ウィリアム・テル」序曲より スイス軍の行進 2. 山下康介／『楽器紹介』 3. 小山清茂／管弦楽のための木挽歌 4. ブラームス／ハンガリー舞曲 第5番 6. 西田紘子構成 グリーグ／音楽物語「ペール・ギュント」 1) 「イングリッドの嘆き」 2) 「山の魔王の宮殿にて」 3) 「オーセの死」 4) 「朝」 5) 「ペール・ギュントの帰郷」 6) 「ソルヴェイグの歌」 E.C.1.オーケストラ演奏で校歌を合唱 E.C.2.ヨハン・シュトラウスⅠ世／ラデツキー行進曲 (公演時間：70分)

派遣者数 ※派遣者数の内訳を御入力ください

- ・ 指 揮 者 : 梅田 俊明 (10 月)、栗辻 聡 (11 月)
- ・ 司 会 者 : 江原 陽子
- ・ オーケストラ : 九州交響楽団

フルート : 3 名、オーボエ : 2 名
クラリネット : 2 名、ファゴット : 2 名
ホルン : 4 名、トランペット : 2 名
トロンボーン : 3 名、チューバ : 1 名
ティンパニ : 1 名、打楽器 : 3 名
ハープ : 1 名、ピアノ : 1 名
第一ヴァイオリン : 12 名
第二ヴァイオリン : 10 名
ヴィオラ : 8 名、チェロ : 8 名
コントラバス : 6 名

- ・ ス タ ッ フ : 8 名

合 計 : 79 名

タイムスケジュール (標準)

〔午後 1 公演の場合〕

- 8 時 00 分 セッティング開始 (楽器運搬トラック・ステージスタッフ到着)
- 9 時 30 分 楽団員到着
- 9 時 30 分 セッティング完了
- 10 時 00 分 進行打ち合わせ
- 11 時 00 分 リハーサル開始
- 12 時 30 分 リハーサル終了
- 14 時 00 分 開演
- 15 時 10 分 終演
- 15 時 30 分 楽団員出発
- 16 時 40 分 楽器搬出完了 (楽器運搬トラック・ステージスタッフ出発)

実施校への協力依頼人員

- ・暑さ、寒さ対策（大型扇風機、大型ストーブなど）
- ・控室（指揮者、コンサートマスター、司会者、男性、女性）
- ・控室の目隠し
（カーテンやブラインドがない場合は模造紙や新聞紙で目隠しをお願いします）
- ・動線案内掲示（「控室⇄会場」、「控室⇄お手洗い」など）

演目解説

本事業のテーマである『情景描写』を表現した曲目をプログラム

1. ロッシーニ／「ウィリアム・テル」序曲より スイス軍の行進

スイスに平和をもたらした国軍の行進と民衆の歓喜が描かれている。

2. 山下康介／『楽器紹介』

オーケストラで使用する楽器の特徴を紹介する当楽団オリジナル作品。

3. 小山清茂／管弦楽のための木挽歌

「テーマ」～「盆踊り」～「朝のうた」～「フィナーレ」

一つの民謡が少しずつ変化しながら生まれ育っていく様子が描かれている。

4. ブラームス／ハンガリー舞曲 第5番

ブラームスのハンガリー舞曲集の中で最も有名な曲。

短調のエネルギッシュな曲。速度や強弱の変化、曲想の移り変わりを体で感じながら鑑賞することができる。

6. 西田紘子構成 グリーグ／音楽物語「ペール・ギュント」

曲目解説やナレーション、登場人物の台詞を入れた当楽団オリジナル脚本と、情景や登場人物の気持ちを表現した生の演奏で、児童生徒は物語の世界観を膨らませることができる。前説では、あらすじのほか登場人物や情景をパネルで紹介し、物語の理解を深め、楽器の特徴や音色を生かした情景描写を感じることができる。

E.C.1. オーケストラ演奏で校歌を合唱

E.C.2. ヨハン・シュトラウスⅠ世／ラデツキ行進曲

児童生徒の公演への参加方法、公演に参加させるための工夫

アンコールでは、可能な範囲でオーケストラの伴奏で校歌を合唱する。
オーケストラ伴奏を事前録音した音源を貸与し、本公演前に練習を行ってもらう。

児童生徒とのふれあい

新型コロナウイルス感染拡大防止に最大の注意を払いながら、児童生徒にとって身近な曲である校歌を合唱する事で、オーケストラを身近に感じ、音楽への興味を持つきっかけとする。